



希望の進路をめざして！ 鶴岡・田川地区高校生就職祭り

地元企業が求める人材は

鶴岡・田川地区
高校生就職祭り

先輩と交流 理解深める

就職を希望する鶴岡市内の高校3年生を対象にした「鶴岡・田川地区高校生就職祭り」が4日、同市の東京第一ホテル鶴岡で開かれた。さまざまな業種の地元企業社員と交流し、事業内

容や求める人材について学んだ。

高校3年生の就業意識の向上と地元企業への就職促進のため、鶴岡地区雇用対策協議会（上野雅史会長）が毎年開催している。今年と同協議会に加盟する製造業、建設業、サービス業、医療・福祉など33事業所が説明ブースを設けた。



鶴岡工業、鶴岡中央、鶴岡東、庄内農業の4校から約100人が参加。地元就職した先輩から就業体験談を聞いたあと、数人ずつの班に分かれてそれぞれ4社のブースを回り、担当者から仕事内容、仕事場の雰囲気、求める人材像などの説明を受けた。「早く一人前になるには」と相談した高校生は、「仕事もコミュニケーションも自分から積極的にやること」とアドバイスを受けていた。

鶴岡中央高総合学科の大

川 姫希さん(17)は「事務職希望だったけど説明を聞いていたら他の業種にも興味が出てきた。視野が広がり、やってみたいことが増えた」と話した。

企業説明を熱心に聞く高校3年生